広域的な自転車通行環境整備事業計画　概要版

大阪府、京都府、大阪市、堺市

１．整備目的

2025年大阪・関西万博の開催を契機に、国内外からの多くの来訪者が安全、快適に府内各地を周遊できる環境の整備に向けて、広域的な自転車通行環境の充実を図ることを目的とする。

２．整備の考え方

既存の大規模自転車道等を活用し、広域的に安全、快適に移動できるルート（基幹ルート）を設定し、自転車通行空間の整備や府内の統一的な案内サイン等の設置を行う。

（図の説明）

基幹ルート、地域ルートを図示。

・基幹ルートは、広域にわたり都市間を結ぶ骨格となるルート。（空港や駅、大都市と目的地を結び、安全・安心に移動できる。）

・地域ルートは、（基幹ルート周辺の）地域のルート。（基幹ルートから離れているビューポイントなど、隠れた地域資源を楽しめる。）

３．整備内容

自転車通行空間の整備

（写真の説明）

自転車通行空間の整備事例を写真に示す。

一般道における矢羽根型（標準形）路面表示

河川空間を活用した自転車歩行者専用道路

案内サイン等の設置イメージ

（写真の説明）

案内サインの設置事例を写真に示す。

　出典　国土交通省ホームページ（太平洋岸自転車道）

（図の説明）

案内サインの表示イメージを図示。

４．整備対象ルート

「大阪・関西万博に関連するインフラ整備計画」に位置付けられている淀川左岸サイクルロードや（仮称）大和川サイクルライン（堺市区間）と連携し、整備の目途が立ったルートを2025年までに優先的に整備するルートとして設定。

検討中エリアは、引き続き課題の解決に向けた検討・調整を行い、段階的にネットワークの拡大を図る。

（表の説明）

淀川リバーサイドサイクルライン

・主な構成路線は淀川左岸サイクルロード、北大阪サイクルライン（淀川沿い）、北河内サイクルライン（淀川沿い）。

・延長は約50キロメートル。

・うち優先整備ルートは約50キロメートル。

大和川リバーサイドサイクルライン

・主な構成路線は(仮称)大和川サイクルライン（堺市区間）、(仮)南港自転車道、大和川ヘルスストリート、南河内サイクルライン（大和川沿い）。

・延長は約25キロメートル。

・うち優先整備ルートは約25キロメートル。

石川リバーサイドサイクルライン

・主な構成路線は南河内サイクルライン（石川沿い）。

・延長は約15キロメートル。

・うち優先整備ルートは約15キロメートル。

大阪ベイサイドサイクルライン

・延長は約50キロメートル。

・うち優先整備ルートは約30キロメートル。

注　整備対象ルートおよび延長については協議状況により変更となる場合があります。

（図の説明）

優先整備ルート、拠点施設・休憩施設、検討中エリア、その他の大規模自転車道を図示。

注　2024年３月27日時点

注　国土地理院地図を加工して作成